

PRESS RELEASE

上質ないいものを創造する
山形の理想的ものづくりを
このマークで伝えていきます。



令和6年7月22日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業技術イノベーション課

生ゴミを資源化！食品残渣から生産された肥料で育てた花の展示について

山形県では、ものづくり産業をけん引する中核的ビジネスの担い手となるスタートアップを支援するため、伴走支援事業を実施しています。

令和5年度ものづくりスタートアップ伴走支援事業^{※1}において支援を行った「ヤマダイミズアブ」^{※2}では、アメリカミズアブの幼虫に食品残渣を与え、出たふんを肥料としてを資源化するプロジェクトに取り組んでいます。

この度、県庁食堂及びヤマザキショップ（県庁店、県立中央病院店）の食品残渣から生産された肥料で育てた花を下記のとおり展示しています。

つきましては、展示期間中の取材・報道についてご協力をお願いいたします。

記

- 1 期 間 令和6年7月16日（火）から令和6年7月26日（金）
- 2 場 所 県庁正面玄関東側のスペース
- 3 設置状況 別紙のとおり

※1ものづくりスタートアップ伴走支援事業

ものづくり分野のスタートアップの事業立ち上げを支援するため、ビジネスアイデアのブラッシュアップ、資金調達に向けたプレゼン指導及び実践の場の提供までを伴走的に支援する事業

※2ヤマダイミズアブ

山形大学農学部の佐藤智准教授のグループによるアメリカミズアブの幼虫を利用した食品廃棄物の資源化及び資源の総合的な利活用をテーマとして活動するスタートアップを目指す団体（令和5年度ものづくりスタートアップ伴走支援事業において支援）

【問合せ先】産業労働部産業技術イノベーション課
次世代産業振興室 室長補佐 板垣
TEL：023-630-2553
【報道監】産業労働部次長 奥山

展示の様子



位置図



設置看板 (拡大)

ヤマダイミズアブ企画
山形県庁と山形県立病院の食品廃棄物をリサイクルしたたい肥で育てた花を展示しています。期間7月16日～7月26日

県庁食堂の食品残さ
県立病院ヤマザキショップの食品廃棄物
ヤマダイミズアブが堆肥化
花き栽培試験に利用

試験概要：
化成肥料またはヤマダイミズアブたい肥を用いて花をプランター栽培。同たい肥が肥料として使えるか検証中。

アメリカミズアブの成虫
使用したたい肥 (ヤマダイミズアブたい肥)：食品残さや廃棄物を食べさせたアメリカミズアブの幼虫のフンを集めたもの。作物などの肥料として利用できます。

Yamadai Mizuabu
Yamadai Mizuabuとは？：山形大学で採集・繁殖したアメリカミズアブ (人を刺さない安全なムシ) を用い、地域の食品廃棄物をリサイクルし、社会に様々な利用する研究プロジェクト。